

かもみーる KAWO首一

～NEWS Letter～ 33号 2013年3月

.. TOPICS ..

- * 女性研究者研究活動支援事業 終了にあたって
- * 意識調査アンケート結果
- * 地域・教育共催FD

女性研究者研究活動支援事業 終了にあたって

岐阜大学は、平成22年4月に男女共同参画推進室を、8月に総務部人事労務課（現・人材開発部職員育成課）に男女共同参画係を設置して以降、暗中模索の段階からこれまでの3年間、「多様性活力発揮に向けての女性研究者支援」（文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業」）を取り組みの中核として、男女共同参画推進の活動を積極的に展開してまいりました。



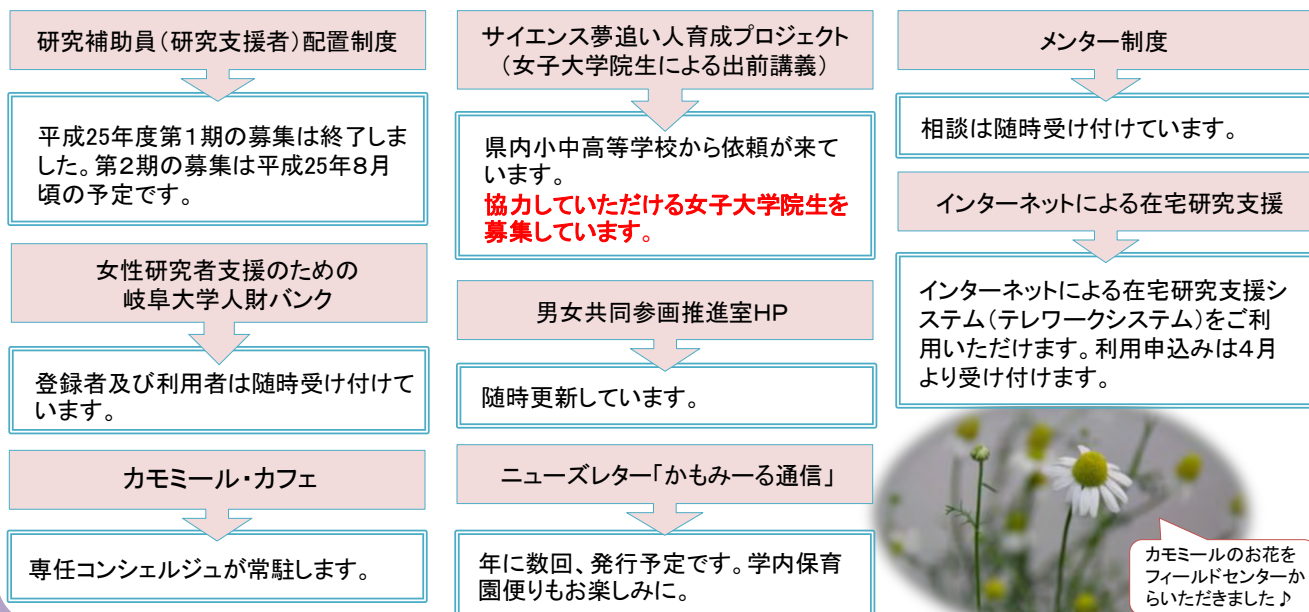
平成22年度より毎年実施してまいりました、全構成員を対象とする意識調査アンケート結果でも、男女共同参画推進の取り組みへの関心が、着実に根付いてきていることがうかがえます。しかしながら、本学には、さまざまなライフイベントと仕事を両立するために支援を必要としている構成員が、今なお大勢います。ワーク・ライフ・バランスの改善に向けた活動は、緒に就いたばかりと言えるでしょう。

文部科学省科学技術人材育成費補助金による女性研究者研究活動支援事業は、この3月をもって終了しますが、男女共同参画推進室では、今後、「岐阜大学男女共同参画行動計画」に則り、全学あげての堅実な活動の展開をめざします。女性研究者育成・支援活動において有効であった取り組みは、その経験知を活かしながら段階的にその範囲を広げていくことで、全構成員の男女共同参画が推進されるよう努めてまいります。

岐阜大学男女共同参画推進室のシンボル花は、野に咲く「カモミール」—「親交」「逆境に負けない強さ」の花言葉のごとく、今後も、地道な取り組みによって、男女共同参画大学の実現に向けた活動の輪が広がってゆくことを願ってやみません。引き続き、皆様のご支援とご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

男女共同参画推進室長
林 正子

今後も継続する取り組み



意識調査アンケート結果

「平成24年度岐阜大学男女共同参画に関する意識調査」は、男女共同参画推進室が行っている全教職員を対象とした意識調査の第3回目になります。本調査は、学内教職員の男女共同参画に関する意識と状況を定期的に把握することを目的として行っています。

今回は、その中から調査概要といくつかの項目についての結果をお知らせします。全ての質問項目の結果については、別途『平成24年度 岐阜大学男女共同参画に関する意識調査報告書』を発行しますので、そちらでご確認ください。

■調査概要■

対象者：岐阜大学教職員（2,848人）
 実施時期：2012年12月
 回収有効票：1,589票 回収率：55.8%

回答者数の約6割は女性となっています。年齢別では、30代・20代、40代の順で多く、これらの年齢層で全体の約8割を占めます。職種は、事務系・技術系職員、医療系職員、教育系職員の順で多くなっています（図1、図2、図3）。

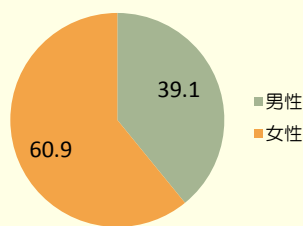


図1 回答者の性別

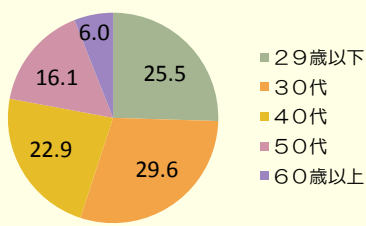


図2 回答者の年齢

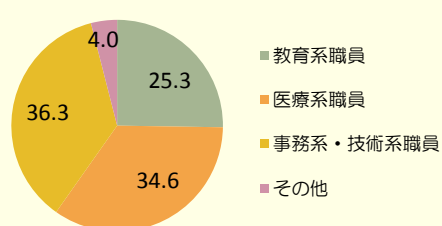


図3 回答者の職種

Q: 岐阜大学では平成22年4月に男女共同参画推進室を設置し、様々な活動を展開してきました。平成22年度以降、大学内において男女がともに働きつづけるための環境整備が進んだと思いますか。

平成22年4月以前に岐阜大学に勤めていた方を対象にした当該項目の質問では、およそ4割の人が環境整備が進んだと答えています（図4）。一方で 進んでいないと答えた人が約3割、わからないと答えた人が約3割となっており、環境整備の進展を実感できていない人たちが半数以上います。ここには掲載していませんが、環境整備の進展を実感できていない割合は、看護師や技術系職員で比較的高くなっており、各種制度や施設の利用可能性に差が生じていることが考えられます。

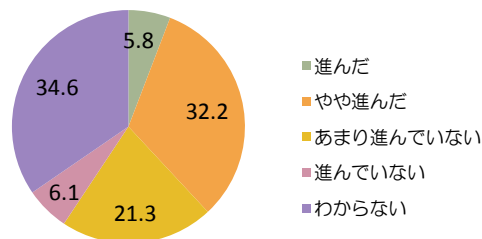
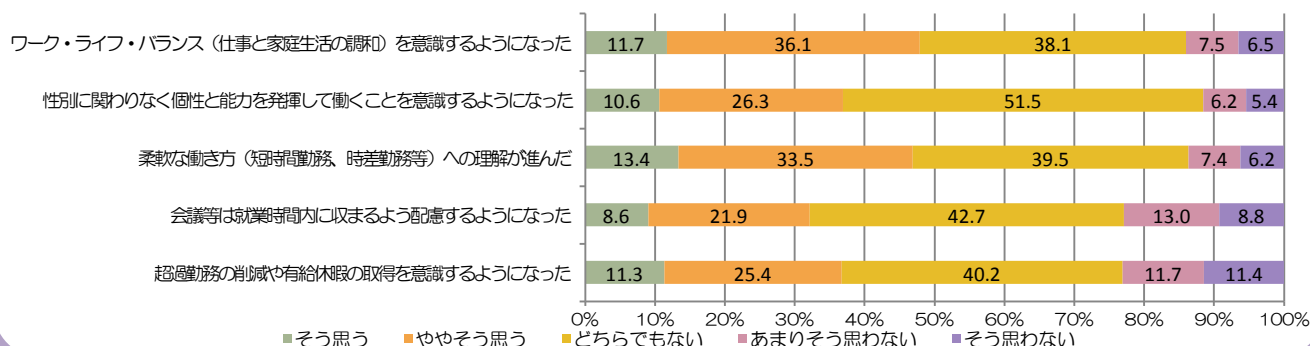


図4

Q: 平成22年度以降のあなたの行動や意識の変化についておたずねします。各項目の選択肢のうち当てはまるものを選んでください。

行動や意識の変化についてたずねた質問では、ワーク・ライフ・バランスや柔軟な働き方といった項目で賛同傾向が高くなっています。これらの項目が比較的高い賛同傾向を示している理由としては、平成23年度に行ったワーク・ライフ・バランスをテーマとしたシンポジウムでの講演会や「岐阜大学 ワーク・ライフ・バランス応援ハンドブック」の発行が一定程度貢献していると思われます。



地域科学部・教育学部・男女共同参画推進室共催FDを開催

平成25年3月6日（水）、地域科学部・教育学部・男女共同参画推進室共催のFDを開催し、教職員や学生計83名が参加しました。

FDでは、お茶の水女子大学副学長の鷹野景子氏をお招きし、お茶の水女子大学の取り組みについてご講演いただきました。講演では、学長のリーダーシップのもと「9時-5時体制」の徹底化に取り組み、最初はあまり積極的ではなかった構成員の意識も徐々に変わり、現在では定時には心おきなく帰宅できる職場環境になってきていることが紹介されました。また、女性研究者に適合した雇用環境を構築するために必要な取り組みを整理し、女性研究者支援を行う際の指標をまとめた「お茶大インデックス」、女性研究者を支援する体制を整備するための手引き書「COSMOS Work Book」を作成・公表し、他機関へ広く発信していることが紹介されました。この他、優れた女性研究者の継続的な研究活動を支援するとともに、女性研究者が研究中断後に円滑に研究現場に復帰する機会を提供するための「みがかずば研究員」制度など、多様な取り組みについてお話いただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲講演する鷹野氏

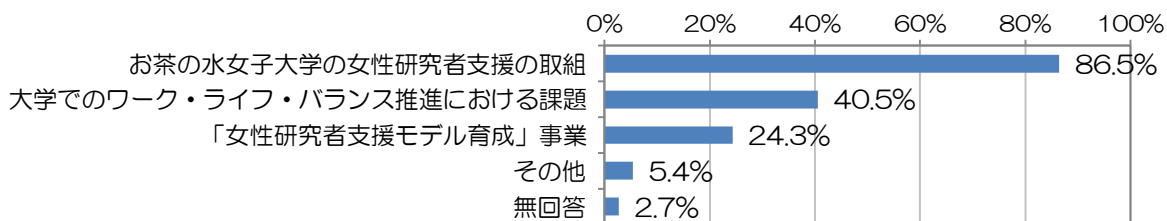


▲会場の様子

アンケート結果

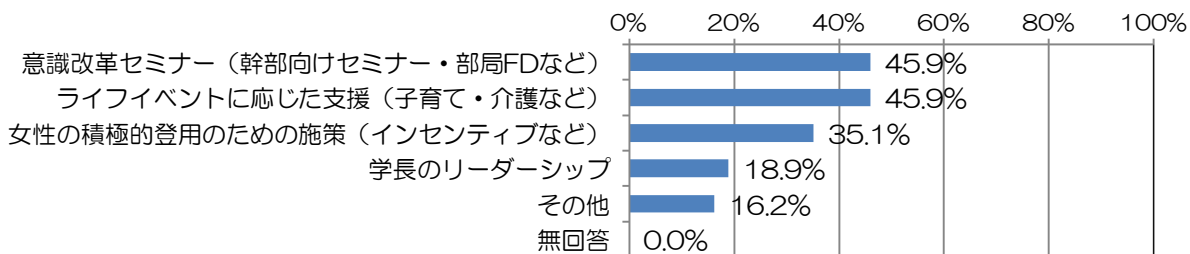
(アンケート回答数：37票)

このFDにより理解が深まった項目 (複数回答)



(その他) ・日本における女性活用度の低さ ・みがかずば研究員

岐阜大学において男女共同参画の推進に必要と思う項目 (複数回答)



(その他) ・全教職員向けの意識改革セミナー ・任期付教員など教員間差別的の撤廃 ・職員の意識改革
 ・学長のリーダーシップは、トップダウンでないリーダーシップ
 ・全構成員の共通認識・理解の形成 ・実施、運用機関のより一層の整備

HP リニューアルしました

男女共同参画推進室のホームページをリニューアルしました。ニュースレターの閲覧、貸出図書やイベントの紹介など、内容も充実し、さらに利用しやすくなりました。是非、ご活用ください。



【岐阜大学HP トップページ】

北方町男女共同参画講座に参加

2月26日（火）、北方町は男女共同参画講座「今日からできる！家族を守る防災術」を開催し、男女共同参画推進室員が参加しました。今後も、意見交換会をはじめ各種取り組みへの相互参加を通して、近隣自治体との連携をはかっていきます。

日本まんなか共和国・女性経営者サミットに参加

2月12日（火）、岐阜県は「日本まんなか共和国・女性経営者サミット」を開催し、林正子男女共同参画推進室長が参加しました。

日本まんなか共和国は、福井・岐阜・三重・滋賀の4県からなり、いろいろな分野での域内交流を促進しています。今回は4県から女性経営者が集結し、「女性が切り拓く商業・サービス業の未来」をテーマにパネルディスカッションが行われました。その後は3つのグループに分かれ、「女性がキャリアアップを図るために」「仕事と家庭を両立するために」「女性の力でビジネスを広げるために」について、それぞれ、今、何ができるか話し合い、盛況な会合となりました。

京都工芸繊維大学で講演

2月22日（金）、京都工芸繊維大学は「KIT男女共同参画推進センターキックオフセミナー 女性研究者の活躍と男女共同参画社会」を開催しました。その中で、林室長が『男女共同参画意識を学内に浸透させるための組織づくり』と題して、本学の女性研究者育成・支援の取り組みについて講演を行いました。

室蘭工業大学で講演

3月1日（金）、室蘭工業大学は「平成24年度男女共同参画トップセミナー」を開催しました。林室長は『女性教員比率向上に向けての活動 - 男女共同参画推進室の取り組みと多様性人材活用推進会議との連携』と題し、本学が2015年までに女性教員比率17%と定めた経緯や方策について講演しました。

アピ株式会社で講演

3月4日（月）、岐阜市に本社があるアピ株式会社で「男女共同参画セミナー」が開催され、林室長が意識改革に関わる本学の取り組みについて講演を行いました。

講演会には、約60名の社員が参加。質疑応答では、男性の育児休業について質問が出されるなど、関心の高さがうかがえました。

アピ株式会社は、女性幹部の育成が評価され、岐阜市から平成24年度男女共同参画優良企業として表彰されています。今後、「くるみん」マークの取得に向けて、より積極的な活動が展開されるそうです。



▲リーダーとしてご活躍中の皆さん

岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。

